

「現代の薩長同盟」で政権吹き飛ばそう

五十嵐 仁（法政大学太原社会問題研究所前教授）

〔以下の談話は、『東京民報』2月28日付に掲載されたものです。〕

日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の野党五党首が19日、「安保法制（戦争法）の廃止」をめざし、最大限に協力することで合意しました。政治学者で法政大元教授の五十嵐仁さんは次のように語っています。

私は、昨年6月くらいから、講演などで野党の共闘を実現するためには民主党と共産党がカギを握っており、そのために現代版の「薩長同盟」を実現しなければならぬと話してきました。そのためには仲介者としての「坂本龍馬」が必要ですが、「その坂本龍馬になるのは、みなさんです」と、国民的な運動と世論がカギを握ることを力説したものです。

今回の合意は、アベ暴走政治を追いつめるための大きな一歩であり、国民が政治を動かした重要な到達点です。

5野党の合意では、戦争法廃止の法案を提出するとともに、「国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う」としています。これを具体化して、国会審議で力を合わせながら協力して法律の問題点を明らかにするだけでなく、その他の協力できる分野でも野党の連携による効果的な論戦を展開して安倍首相を追いつめてほしい。

5党で統一行動などにも取り組んでもらいたい。不祥事や問題発言などオウン・ゴール続きの安倍政権を、現代版「薩長同盟」の力で吹き飛ばすことを期待しています。